

## NEWS 風呂場でガス爆発！ - 西日本防災システム

2014 04 23

こんな爆発事故が一般家庭で発生しました。愛媛県松山市で、家庭用のカセットボンベのガス抜き処理をしていた男性が、爆発により、大やけどを負ったようです。自宅の風呂場が現場のようです。

爆発の原因は、鍋物などで家庭でもよく使われる、カセットコンロ用のガスボンベだったようです。

54歳の男性が、自宅の浴室でカセットボンベ6缶に穴を開け、液化したガスを排水口に流したことが原因だったようです。排水口に流した後、男性がシャワーを浴びるため蛇口をひねると、突然、大爆発したようです。この男性は、全身にやけどを負い、病院に搬送されたそうです。

東京消防庁が以前に行ったカセットボンベの爆発実験映像を見ますと、カセットボンベの中に残っていたガスが噴き出して引火すると、瞬時に激しい炎に包まれる様子が映し出されていました。

このようなカセットボンベなどによる爆発や火災などは、東京都だけでも、過去5年間で850件以上発生し、300人近い死傷者を出しているそうです。全国ですとかなりの数字になるのでしょうか。カセットボンベの中には、市販のライターにも使われるブタンガスの液体と、それが蒸発した気体が密封されています。

カセットボンベに穴を開けた場合、その穴からは、ブタンガスが液体で出のですが、ブタンガスは、液体が沸騰し始める温度が-0.5度と、非常に低いため、常温ですぐに気体となってしまいます。

さらに、ブタンガスは空気より重いいため、換気扇を回して換気しても、長時間室内にとどまってしまう可能性が高いようです。

今回の松山市での爆発事故で警察は、浴室内にガスが充満した状態で、湯沸かし器が点火され、残留ガスに引火したとみて詳しい状況を調べているようです。 **ご家庭でガス抜きをされる場合は どうか ご注意ください！**



西日本防災システム

NISHINOHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社top pageへ 